



フライング ディスク大会

香川県知的障害者福祉協会が主催のフライングディスク大会に参加しました。利用者様は久々の施設外の方たちとの交流に、はやる気持ちを抑え、日頃の練習の成果を発揮すべく、楽しそうに投げる人、真剣に投げる人それぞれ個性を発揮して、競技に夢中になっていました。

P1へ

ファーム建屋完成

ふれあいファームに、最近流行りのマットブラックの外観でシックに見え、中は風通しの良い建屋が完成しました。利用者様が活動したり、休憩に使用したりするにあたり、雨の日の排水方向、怪我しないように突起物を無くしたり、風で扉が閉まらないよう引き戸に変更するなど様々な工夫をしました。

今後は椅子やテーブルなどを配置して、より快適な空間として、地域の方との触れ合いの場所になったらと考えています。

生活支援員 平山 学



ポム・ド・パンの理念

- ・障害があっても、誰からも愛される人に成長できるように、丁寧に寄り添って関わります。
- ・障害があっても、正しいことを根気よく伝えることにより、何歳になっても成長することを信じます。
- ・障害があっても、できることが増えるように、様々なことを獲得できるように、一貫性をもって、継続して支援します。
- ・障害があっても、その方の得意なことを、大好きなことを見つけ、これを通して、生活基盤を作ります。



花見

4月4日~4月5日



4月4日(火)、療育グループ20名で公洲公園に花見に行きました。日頃外出健脚で公洲公園には行っていますが、当日はコースもかえ、合い間にレクリエーションも取り入れ、桜の木の下で立ち止まって話をしたりして、花見の雰囲気味わってもらおうと工夫しました。桜の花は少しちりかけていましたが、皆さん、いつもと違う雰囲気楽しい時間を過ごすことができました。

主任生活支援員 鎌田 泰明

4月4日(火)、公洲森林公園へ、お花見に行ってきました。今年は桜の開花が早く、桜が散っていないかなぁと心配でしたが、新緑の木々の間に淡いピンクの花びらを見つけることができました。利用者様と職員の気持ちが通じ、とても嬉しかったです。

桜の下に座り、ゆっくりお茶タイムを過ごすことができました。来年も、お花見ができることを楽しみにしたいと思います。

生活支援員 上原 雅子



4月5日(水)とらまる公園に利用者様14名と花見に行きました。

天気は曇りがちで少し肌寒かったです。今年の桜は少し開花が早かったのか、新芽が出ている木もちらほとありました。

利用者様は公園内の桜並木の遊歩道を歩き、春の訪れを感じていました。お昼にはみんなで楽しくお弁当を頂きました。外で食べるお弁当はより一層美味しく感じました。

午後からは引き続き広い公園内を散策し、芝生コーナーで縄跳び等で体を動かしたり、眺めのいい塔に登りそこからの景色を楽しんだり、遊具のある場所では無我夢中で遊びました。

利用者様が笑顔で楽しそうにしているのをみて、嬉しく思いました。また来年もみんなでここに花見に来たいと強く願いました。

主任生活支援員 松田 仁美



フライングディスク大会

6月16日



6月16日(金曜日) 令和5年度香川県知的障害者福祉協会第14回フライングディスク大会に14名の利用者様と参加しました。開催場所はウインドヒルより車で50分ほどにある飯山総合運動公園です。雨天の心配もなく、天候にも恵まれ種目によって、屋外と体育館に分かれて競技を行いました。競技に先立ち開会式ではウインドヒル利用者様2名が選手宣誓の大役を任せられ、ハキハキと宣誓することが出来、素晴らしい大会のスタートを切りました。全9チーム参加で、個人戦のみを競い合います。

この日の為に日課の合間にディスクを投げる練習を一生懸命行いました。練習では生き生きとし、個々の投げやすい格好で投げる事が出来ていたので、期待していたのですが、本番ではその成果がうまく出せず、結果が伸びてこなかったです。そんな中でも2名の利用者様が入賞することが出来ました。とても喜ばしいことです。競技中は一人一人が真剣に集中して行うことが出来、充実した時間が過ごせました。

来年開催されるなら、もっといい成績が残せるように普段の日課の中でフライングディスクを取り入れて、本番での成果につながるように支援していきたいと思いました。

生活支援員 新藤沙也香

お楽しみ運動会

6月8日



暑くもなく寒くもなく、丁度良い気候の中、ウインドヒルのお楽しみ運動会が開催されました。それぞれのユニット毎にきちんと整列して座って待つ姿が凛しく目をキラキラさせていたのがとても印象に残っています。皆さんそれぞれに鳴子、鈴、マラカスを手にリズムに合わせて体を動かし、全員が手を上に高く上げて動きが揃った時には日々の練習の成果が感じられました。ユニット対抗デカバトンリレーでは、足にデカバトンをはさんで歩くととても難しい競技ですが、今までの経験からさらっとこなし、中にはスピードを出して走る姿にびっくりしました。玉入れでは、D棟の利用者さんは玉を入れすぎて、筆から玉があふれ出すハプニングがあったり、とても楽しいひとときを過ごすことができました。

主任生活支援員 加藤 理江

初めてのお楽しみ運動会の参加でした。各種目ごとに利用者様が一生懸命に体を動かし真剣な表情で取り組む姿は印象的でした。

玉入れでは利用者様の笑顔がいっぱい見られました。

楽しい時間をいっしょに過ごすことができました。

看護師 松本ひろ子

世界自閉症啓発デー

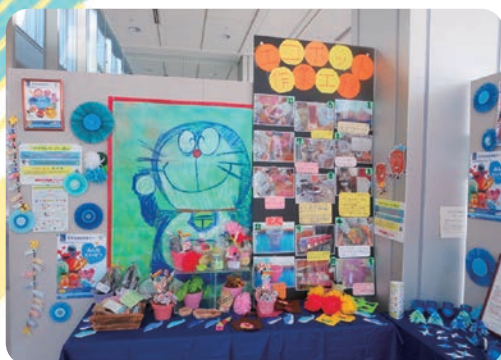
4月2日

毎年4月2日は国連が定めた世界自閉症啓発デーです。4月2日～8日は発達障害啓発週間です。世界・日本各地で啓発活動やブルーライトアップが行われました。「いやし」や「希望」などを表すブルーと自閉症のシンボルからブルーとしています。ライトアップや青いものを身につけたり様々な形でブルーが展開されています。ライトアップに参加する場所も年々増え、今年は新たに栗林公園「商工奨励館」、中津万象園、ユープラザうたづが加わりました。

香川県でも自閉症をはじめとする発達障害について理解していただくため様々な取り組みを行っています。県庁本館1階ギャラリーにて啓発資料やパネル、利用者様の作品等を展示しました。グッズ配布ではポケットティッシュと一緒に資料と相談窓口が記載されたリーフレットなどです。

世界自閉症啓発デーを通して発達障害について多くの方々に広く知っていただく機会になればと思います。

主任生活支援員 松田 仁美



トピックス アスパラガス



昨年10月よりビニールハウス内の土壌改良を行い、4月に苗を植えました。2か月でここまで成長しました。まだまだ先の話ですが、収穫が楽しみになってきました。

高松南高等学校実習生を受け入れて

5月23日～26日

5月23日から5月26日までの4日間、香川県立高松南高等学校の生徒3名の方が実習に来られました。介護福祉士習得のための一課程ということであり、ウインドヒルにおいては、一人一人に対する介護というより、コミュニケーション、人との関わり方、一人一人に応じた支援の仕方を中心に、実際に利用者様と接してもらい経験をしてもらいました。実習生の方も、コミュニケーションや関わり方を工夫しながら良い経験ができたと思います。今回の実習を通して得た事は、介護の現場でも必ず役に立つ事であり、今後の実習生の方の役に立っていただければと思います。また利用者様も若い人と元気に関わる事で多くの笑顔が見られ私達職員も元気をもらいました。ありがとうございました。卒業後、ウインドヒルに来てくれたらうれしいです。

主任生活支援員 鎌田 泰明



今回の実習では様々な特徴のある利用者さんとコミュニケーションを取り、困ったことも沢山ありましたが、職員さんからの指示やアドバイスにより、手話やジェスチャーなどの利用者さん一人ひとりに合ったコミュニケーション方法について学ぶことができました。また、職員さんの利用者さんとの関わりを観察することで、決して利用者さんを子ども扱いしないようにしていると気付きました。このことから利用者さんは全員大人なので、利用者さんの尊厳を守るために小さなことにも気を付けているということも学ぶことができました。食事支援の際には、食べるのが速すぎてしまう利用者さんに職員さんが指で一度待つということや次に食べるものを指示していたのが印象に残りました。知的障害の人は理解するのに時間がかかるので、この指示を覚えるまでに、何度も職員さんが分かりやすく説明できるように工夫したということを感じ取ることができ、すごいと思いました。また、利用者さんがジョギング中に反応が無くなり、座り込んでしまった際に、職員さん達が連携を取って、利用者さんのバイタルチェックや情報共有を行い、利用者さんの安全を確保している姿が印象に残りました。利用者さんとのコミュニケーションの取り方や支援の方法について細かく指導していただきありがとうございました。今後の実習では学んだことを活かして利用者さんのできることを増やすような支援や声かけを行いたいと思います。

香川県立高松南高等学校 福祉科2年 渡邊 花梨

私は、この介護実習で、障害者施設ウインドヒルに実習に来て、本当に良かったと思っています。実習生の私にも優しく丁寧に対応してくださったお陰で、安心して実習を行うことが出来ました。今回の実習で、自閉症の利用者さんに関わり、重度の障害があっても、自立した生活が出来るのだと知ることが出来ました。そして、利用者さんの自立に施設ののびのびとした環境が大きく関わっていると考えました。他にも利用者さんのそれぞれのこだわりを知ることが出来ました。そして、そのこだわりは、自立に向けて生かす事にもなれば、他害になってしまう可能性もある為、支援のさじ加減の難しさを知りました。私は障害者支援施設ウインドヒルで、自閉症の利用者さんに関わり、自閉症への考えが大きく変わりました。そして、自閉症の利用者さんのことが、とても好きになりました。今後はもっと積極的にコミュニケーションを取り、利用者さんに関わっていきたいです。

香川県立高松南高等学校 福祉科2年 浜口 好羽



今回の実習では、利用者さん一人ひとりの個性に応じたコミュニケーションや接し方について学ぶことができました。コミュニケーションでは、発語だけでなくジェスチャーや手話、空書を用いており、耳が聞こえない人でもコミュニケーションが図れるように対応しています。フロアには色々なイラストを使って、より分かりやすいように工夫しており、利用者さんが快適に過ごせるようにたくさんの工夫がしてあることが分かりました。常同行動はその人のこだわりだと知ることができました。その人のこだわりを何かの作業で活かすことができないか考え、実際にやってみてもらうことで、その人のこだわりを活かしたその人らしい生活が送れることが分かりました。小さいごみを見つけるのが得意な利用者さんにモップ掛けを頼んでいて、その人の特性に合った指示を行ってすごいなと思いました。すぐに座り込んでしまう人は雑巾で床を拭いてもらうなど、利用者さん一人ひとりが自主的に出来るものを選び指示を行っていたのがとても印象に残っています。決して介助にならないよう一部しか手助けをしていないのを見て、できることを増やそうと色々考え工夫していることを学ぶことができました。どうしてこんな支援をしているのか、この人に合った支援方法などを細かく分かりやすく教えてくださりありがとうございました。また質問がないのかを何度も聞いてくださったので質問がしやすかったです。今回学んだ、できることを増やしていく支援方法と職員さんとの情報共有を今後の実習でも活かせるようにしたいと思います。

香川県立高松南高等学校 福祉科2年 山下 麻琳

祭

地域とのつながり

三谷八幡宮春祭り

5月3日



コロナも少しおさまりつつ、天気がとても良い日でした。利用者様2名と一緒に私は初めての三谷八幡宮春祭りでした。利用者様に私も負けないくらいワクワクして参加しました。現地では、利用者様と一緒に荷物を運んだり、品物を出して並べたりしました。すでに準備をしている人などで思っていたより人が多く来ていました。ウインドヒルからもエコポットなど利用者様の作った物などを持って行きました。たくさんのお客様が来られました。お客様に買ってくれた品物の入った袋をととてもはずかしそうに渡す姿やお手伝いする姿など施設内とはまた違った表情を見ることが出来てとても心いやされた1日になりました。

生活支援員 村川芽呉美



絵本読みきかせ

3月13日



高松パイロットクラブ森田様より絵本の読み聞かせをしてくださいました。

参加した利用者様は日頃、職員が実施している読み聞かせとは違うことに気付いた様子が表情にありとても楽しく聞いていました。

参加した職員からは今後、自分が読み聞かせを実施する時、教わった事を実践し今以上に利用者様が楽しく笑顔で絵本を聞いてもらえるように提供していきたいです。とおっしゃっていました。読み聞かせ後、たくさん絵本を頂きました。読み聞かせの時間を増やしていきたいです。絵本は障害があってもなくても関係なくみんなで触れ合う時間、お互いが一つになる時間でもあると思いました。

高松パイロットクラブ様、楽しい時間をありがとうございました。主任生活支援員 松田 仁美

PI (パイロットインターナショナル) から絵本のプレゼント

高松パイロットクラブのメンバーが、始めてウインドヒルを訪問した時、利用者の方達の初めての出会いが内心不安でしたが、彼らの純粋な目に心が洗われる思いでした。

英語での手遊びは上手に真似をして、新しいことに意欲を見せてくれました。絵本も静かに聞いてくれました。絵本に興味があるのは、支援員の方がたが、夜寝る前に本の読み聞かせをしているからだを知り、絵本のプレゼントが支援員の方にお役に立つと考えました。それでPI支援事業であるピックミーアップ（介護する方に思いやりを）からの助成金を得て、プレゼントすることができました。

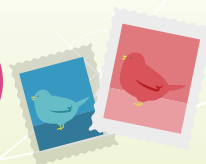
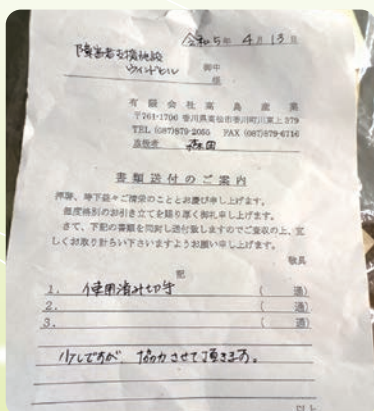
これからも、私たちはウインドヒルの利用者の方達に楽しい読み聞かせを続けていきたいと思っています。高松パイロットクラブ会長 森田 京子

PI ピックミーアップの説明

インターナショナルパイロットクラブ（アメリカ）の支援事業の一環として、介護する方に思いやりを目的としての助成金があります。

助成金申請書はPIの職員と執行役員会により四半期ごとに審査されます。最初に申請書は日本ディストリクトで審査され、その後、英訳してPIに贈られます。そして審査を受諾されると助成金が出ます。

タンザニア ポレポレクラブ 切手寄贈



2014年より定期的に使用済切手を関係者の方よりご協力していただいております。

4月に「有限会社 高島産業」様よりご寄付を頂きました。

使用済切手収集活動はキリマンジャロ山で村人たちが取り組んでいる植林活動を支えるとても大きな力となっています。

引き続きご協力の程、宜しく願い申し上げます。

職員研修



令和5年4月10日

新年度各ユニットの方針

令和5年度の各ユニットの方針・目標を立てて、ユニットリーダーに現状・改善点・問題点等を発表してもらい、その内容を基に各職員より意見を出してもらいました。

また個別に現場にて困っている事案について、具体的な対応方法を皆で話し合いました。

情報を共有し、適切な関わり、適切な支援が出来るかどうかが肝要です。

発表した目標は各ユニットに張り出しています。今後定期的に目標達成度をチェックしていく予定です。

令和5年5月15日

現行制度・コンプライアンス・守秘義務について

当法人でいう「就業規則」について、「何故守らないといけないのか?」「守らないとどうなるのか?」等を一般的な企業においての考え方、また社会福祉法による法律的な観点から改めて皆で考え

ました。参加した職員全員が守秘義務を守るには「何をどうすればいけないのか?」を発表しました。法人の職員としてはもちろんの事、一社会人として当たり前のことを当たり前に執務として責任をもって遂行することを改めて認識する研修でした。

令和5年6月12日

虐待のグレーゾーン ～これって虐待? 虐待でない?～

法人理事の尾崎様を講師に迎え、虐待のグレーゾーンについて講演をしていただきました。以前に虐待防止のレポート研修を全職員に行った際、具体的に出てきた現場で悩んでいる問題をテーマに揚げ、「この場面ではどう関わった方がいいのか、どうすべきなのか、間違っただけではなかったのか」をテーマごとに出席者に自分の意見を発表してもらいました。

また実際に尾崎理事が経験した事例をお話いただきました。お聞きした内容は、衝撃的なものもありましたが、何処でも起こり得ると感じました。

虐待が起こり得る原因は専門的なスキルの不十分と言われていきます。現状のスキルに満足することなく、職員個々の支援力の向上を目指していかなければなりません。

今回の研修が今後の支援に役立てていけるようにしたいと思います。また今後も個々の職員のスキルアップにつながるような研修を計画していきます。

創作BOX



利用者様が余暇を利用して、新聞・広告で創作BOXを作っております。

作った創作BOXを三か所のコミュニティセンター（仏生山・三谷・花園）に無料で置かせてもらっています。

知的障害を持った方が作った創作BOXは、センターをご利用の方が手に取り、こんなことも出来るのかと感心されていて、好評で直ぐに無くなるそうです。次にいつ持ってきてもらえるかの問い合わせもあります。

また畑で作った玉葱も置かせてもらっています。玉葱納品時に写真のポップを添えてあります。そんなポップを見て大変感激されて施設に直接連絡を頂き、玉葱を買いに来てくださった方もいらっしゃいます。自閉症について関心を持って頂けることは大変ありがたい事です。

今後とも地域との縁・つながりを大切に、利用者様の為の施設でありたいと思います。



交通事故ゼロキャンペーン

「春の全国交通安全運動」の期間中の5月19日（金曜日）に、県内一斉の街頭大キャンペーンを実施しました。

昨年の県内の交通事故情勢は、前年と比較して、発生件数、負傷者数、死者数のいずれにおいても減少し、特に死者数は35人となり、統計を取り始めて2番目に少ない人数となりました。

しかしながら、今年に入ってから既に13人の尊い命が失われており、3月には、中讃ブロックを対象に「交通死亡事故多発ブロック警報」が発令されるなど、依然として死者数は全国ワースト上位と厳しい状況が続いています。

こうした状況を踏まえ、県民総ぐるみで交通安全意識の高揚を図るために、「交通事故死ゼロを目指す日」の行事の一環として、標記キャンペーンを実施しました。

ウインドヒルからは8名の利用者様が、高松市香川総合体育館前の幹線道路にて、交通安全の黄色いタスキを掛け、「シートベルト着用」「飲酒運転禁止」と書かれたプラカードを持ち、ドライバーさんへの安全運転、交通事故防止を呼びかけました。



新しい職員

①趣味 ②自分を動物に例えると ③利用者様とのエピソード ④フリースーク

山口 満隆

- ①古寺巡礼
- ②犬
- ③今のところまだありません
- ④私は今純粋で誠実な6人の人と付き合っています。2名は私の2人の子供と同じ年齢です。2名は相手への心遣いが出来るやさしい人です。マグマをかかえている人もいますが、当然本人の責任ではないのでしょうか。私が彼等に優しくしても心が溶けることはないでしょうが感謝の気持ちを言葉に変えて誠実に接したいと思う。



笠井 秀仁

- ①野球等球技観戦 ②ひつじ
- ③高松市役所三谷出張所の職員の時、いっしょに山登りしたことがあります。
- ④福祉の仕事は初めてで、まだ手探りですが、利用者様との関わりも増えて少しずつ楽しくなっています。

濱 美穂

- ①観葉植物を集める→しかしなぜかよく枯らしてしまう。
- ②牛(家では食っちゃ寝、食っちゃ寝の牛さん状態。仕事になるとせっかちな所も出てきてしまう。
- ③かるた遊びをし、早くに取れた時にハイタッチで満面の笑みを浮かべ喜んでる姿をみるとすごく癒された。
- ④福祉施設に携わった事がはじめてなので利用者様1人1人の性格や特徴を早く身につけ安心安全な支援が出きればと思います。

児島 諒

- ①カフェ巡り、映画鑑賞、ゲーム、グミ、ジュースを食べたり飲んだりすることです。
- ②マンボウ（体は大きい打たれ弱いところもあるから）
- ③初めての成功体験は猪塚氏のくつのはきかえです。声かけとくつのかかとの部分に手を持っていきはいてもらえた時すごくうれしく達成感がありました。
- ④失敗もするかもしれませんが前向きにがんばりたいと思いますのでよろしくお願いします。

資金収支計算書

(自) 令和4年 4月 1日 (至) 令和 5年 3月31日
(単位:円)

第1号の1様式

勘定科目		決算
事業活動による収支	収入	
	就労支援事業収入	2,079,001
	障害福祉サービス等事業収入	212,276,129
	経常経費寄附金収入	180,000
	受取利息配当金収入	4,839
	その他の収入	1,617,586
	事業活動収入計(1)	216,157,555
	支出	
	人件費支出	116,435,436
	事業費支出	20,161,652
事業活動資金収支差額(3) = (1) - (2)	事務費支出	34,357,280
	就労支援事業支出	2,038,490
	その他の支出	6,000,000
	事業活動支出計(2)	178,992,858
	事業活動資金収支差額(3) = (1) - (2)	37,164,697

勘定科目		決算
施設整備等による収支	収入	
	施設整備等補助金収入	100,000
	固定資産売却収入	100,000
	施設整備等収入計(4)	200,000
	支出	
施設整備等資金収支差額(6) = (4) - (5)	固定資産取得支出	7,238,520
	施設整備等支出計(5)	7,238,520
その他の活動による収支	収入	
	積立資産取崩収入	648,612
	その他の活動収入計(7)	648,612
	支出	
	積立資産支出	706,875
その他の活動資金収支差額(9) = (7) - (8)	その他の活動支出計(8)	706,875
	その他の活動資金収支差額(9) = (7) - (8)	-58,263
予備費支出(10)		
当期資金収支差額合計(11) = (3) + (6) + (9) - (10)		30,067,914

前期末支払資金残高(12)	319,251,095
当期末支払資金残高(11) + (12)	349,319,009

貸借対照表

(自) 令和4年 4月 1日 (至) 令和 5年 3月31日
(単位:円)

第3号の1様式

資産の部		当年度末
科目		
流動資産		361,121,178
現金	預金	323,138,356
事業未収金		36,142,133
貯蔵品		1,070,689
前払金		770,000
固定資産		704,534,796
基本財産		618,278,037
土地建物		166,462,258
その他の固定資産		451,815,779
建物		86,256,759
構築物		10,111,148
機械及び装置		43,032,460
車両運搬具		20,267,152
器具及び備品		2,569,907
権利		5,264,540
退職給付引当資産		46,000
負債の部合計		4,965,552
資産の部合計		1,065,655,974

負債の部		当年度末
科目		
流動負債		17,507,169
事業未払金		11,400,613
職員預り金		401,556
賞与引当金		5,705,000
固定負債		4,965,552
退職給付引当金		4,965,552
負債の部合計		22,472,721

純資産の部		当年度末
科目		
基本金		220,460,000
基本金		220,460,000
国庫補助金等特別積立金		141,885,527
国庫補助金等特別積立金		141,885,527
次期繰越活動増減差額		680,837,726
次期繰越活動増減差額		680,837,726
(うち当期活動増減差額)		10,759,486
純資産の部合計		1,043,183,253
負債及び純資産の部合計		1,065,655,974

事業活動収支計算書

(自) 令和4年 4月 1日 (至) 令和 5年 3月31日
(単位:円)

第2号の1様式

勘定科目		決算
サービス活動増減の部	収益	
	就労支援事業収益	2,079,001
	障害福祉サービス等事業収益	212,276,129
	経常経費寄附金収入	180,000
	サービス活動収益計(1)	214,535,130
	費用	
	人件費	116,591,699
	事業費	20,161,652
	事務費	34,357,280
	就労支援事業費用	2,038,490
サービス活動増減差額(3) = (1) - (2)	減価償却費	33,568,962
	国庫補助金等特別積立金取崩額	-7,348,198
	サービス活動費用計(2)	199,369,885
	サービス活動増減差額(3) = (1) - (2)	15,165,245
サービス活動外増減の部	収益	
	受取利息配当金収益	4,839
	その他のサービス活動外収益	1,617,586
	サービス活動外収益計(4)	1,622,425
	費用	
サービス活動外増減差額(6) = (4) - (5)	その他のサービス活動外費用	6,000,000
	サービス活動外費用計(5)	6,000,000
サービス活動外増減差額(6) = (4) - (5)		-4,377,575
経常増減差額(7) = (3) + (6)		10,787,670

勘定科目		決算
特別増減の部	収益	
	施設整備等補助金収益	100,000
	固定資産売却益	99,999
	特別収益計(8)	199,999
	費用	
特別増減差額(10) = (8) - (9)	固定資産売却損・処分損	138,423
	国庫補助金等特別積立金取崩額(除)	-10,240
当期活動増減差額(11) = (7) + (10)	国庫補助金等特別積立金積立額	100,000
	特別費用計(9)	228,183
当期活動増減差額(11) = (7) + (10)		-28,184
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	10,759,486
	当期末繰越活動増減差額(13) = (11) + (12)	670,078,240
	基本金取崩額(14)	680,837,726
	基本金取崩額(15)	
	その他の積立金取崩額(16)	
次期繰越活動増減差額(18) = (13) + (14) + (15) + (16) - (17)		680,837,726

社会福祉法人ポム・ド・パン後援会会員

敬称略・順不同

●令和5年度個人会員 令和5年4月1日～令和5年6月20日

安倍 晶子	田岡 晃平	谷川 聡	谷川 博彰	谷川 桂子	田岡 博雄	三好 智子	遠藤 能成
松下 静江	寒川 妙子	藤岡 正温	藤岡 幹子	大矢三千代	深井 一恵	淵崎 輝一	平山 学
今滝 知子	新名 義隆	新名 義弘	藤田 共子	高嶋 誠三	石田 恵美	眞鍋 幸恵	磯部 康子
藤田美佐緒	山本 勝博	山本 哲	高山 照子	佐々木久一	宮崎 成	石田 真一	瀬谷 之人
宮崎 歩	青井 美彦	三好美千代	増田 泰子	塩本 洋子	千代美知子	土手添レイ子	岡 康弘
宮崎 昭子	大宅 秀美	森 正幸	三好 紀子	山下真理子	松木知恵子	河島 淳子	愛川 幸子
和田 龍兵	後藤見知子	沖野 貴子	沖野 知晴	沖野 昌志	小野 晴世	上田 絹代	上田 祐市
小松千賀子	三好 悦子	北條美代子	石丸 和孝	村山 昌	堤 康	佐竹 勝利	大西 敏夫
藤田 和代	清水 勝美	高嶋 和弘	松原 馨	河北 豊	桑田 まり	重利 久代	株式会社共同ガス
岡田美智代	高木 俊幸	森永 政子	松原 健太	松原 正子	松原 廣	松田 仁美	筒井 政志
池下 律子	大藤 久志	大藤 忍	和泉久美子	眞嶋 方文	眞嶋 邦子	宮崎 光	佐藤 明美
多田 修	前田 浩子	山本 和市	伊賀 宏文	万野 妙子	大門 亘	宮武 秀樹	鎌田 泰明
加藤 理江	小谷 一良	篠原美由紀	西川美紀子				

●令和5年度団体会員 令和5年4月1日～令和5年6月20日

しろくま薬局	有限会社高松機械	株式会社トミタ	有限会社香南鉄筋	株式会社一陽パック
大成段ボール株式会社	有限会社晴天	自由民主党香川県第一選挙区支部		株式会社カナック
百十四銀行空港口支店	有限会社高島産業	株式会社合田工務店	砂入池水利組合	アイ・プロジェクト
JF卓球クラブ（香西由紀恵）		株式会社ムーミー		

令和5年4月1日～令和5年6月20日現在、以上の方々に継続及び新規にご入会して頂きました。

令和5年6月20日以降にご入会の方々は、次の会報にお名前を掲載させて頂きます。本当にありがとうございます。

社会福祉法人ポム・ド・パン後援会のご案内

社会福祉法人ポム・ド・パン後援会は、当法人が運営する障害者支援施設「ウインドヒル」をサポートしています。今後長期にわたり、利用者一人ひとりを大切にしたい理想的な療育を行い、施設の整備を継続的に発展させてゆくには、より多くの方々のご支援を必要としております。

何卒、私達の趣旨をご理解いただき「社会福祉法人ポム・ド・パン後援会」にご入会下さいますようお願い申し上げます。

なお、すでに会員の方には毎年度初め4月1日付で継続お願いのご案内と振込用紙を送付しております。よろしくお願いいたします。

〔年会費〕個人会員 一口3,000円 団体会員 一口10,000円

〔ご入金方法〕郵便振替 口座番号 01690-3-74305 口座名称 社会福祉法人ポム・ド・パン後援会

あたたかいご支援、本当にありがとうございました



社会福祉法人ポム・ド・パンのホームページです。
当法人からのお知らせやウインドヒルでの取り組みなどを随時更新していますので、是非ご覧ください。スマートフォンでは、右のQRコードから読み取れます。
アドレス：<http://www.pomme-de-pin.or.jp/>



社会福祉法人ポム・ド・パン

編集後記

現在、新幹線が通っていないのは四国だけになっています。

先日、四国知事会議で、これまで徳島県だけが求めてきた「淡路島を通るルート」について、徳島県知事が撤回する考えを示しました。1973年に策定された基本計画で止まっていたが、これにより今後は瀬戸大橋を通る「岡山ルート」での実現を、四国四県が一致して国に働き掛けることになりました。

海を渡らずに新幹線に乗れるのを想像してみるとワクワクしますし、旅するのが楽しみになりますね。でも開通するとしたらいつになるんでしょうね。



松ぼっくりのポムです。



松ぼっくりのパンです。